

イノベーション創出の取組み

スタートアップ企業との協業

「未来共創投資」の新設

コロナ禍やデジタル技術の革新等により、人々の価値観・行動様式がめまぐるしく変化する状況下において、お客さまに多様な価値を提供するため、先進的なスタートアップ企業

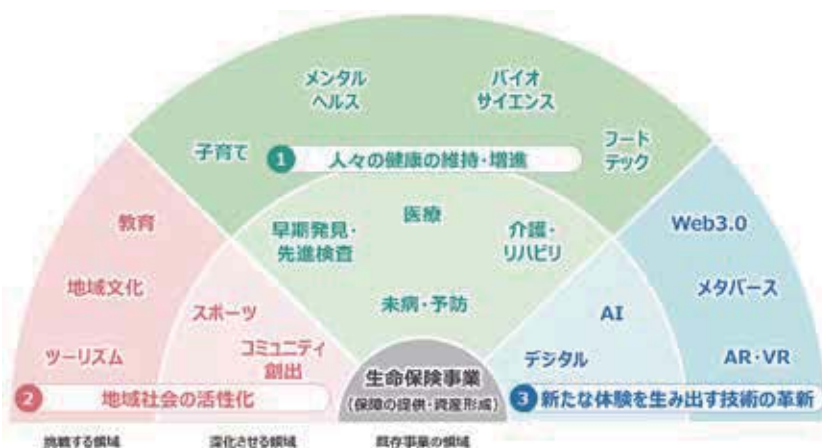
等との協業を視野に入れた100億円の投資枠「未来共創投資」を新設いたしました。

CVCファンド「明治安田未来共創ファンド」の設立

2023年2月には「未来共創投資」の取組みの一つとして、CVCファンド^(注1)「明治安田未来共創ファンド」を設立いたしました。

(注1) CVCファンドとは、本業との相乗効果を得ることを目的に、自社の事業内容と関連性のあるスタートアップ企業を中心に投資を行なうファンドです。

▶ 明治安田未来共創ファンドにおける投資領域



「明治安田未来共創ファンド」では、3つの領域①人々の健康の維持・増進、②地域社会の活性化、③新たな体験を生み出す技術の革新)で事業を展開する有力なスタートアップ企業への投資を通じた協業を行なうことで、スタートアップ企業の成長を支援するとともに、当社が提供する商品・サービスのさらなる魅力化や新しいお客さまとの接点の拡大をめざします。

イノベーション拠点の設置

オープンイノベーション拠点「mocc」

スタートアップ企業をはじめとする民間企業に加え、自治体、行政、大学、研究機関等のみなさまとの連携・協働の場として、「mocc」^(注2)を開設いたしました。

様々な企業・人財が集い、オープンでフラットなコミュニケーションから発想を得ながら、異なる個性が「One Team」として連携・協働することにより、「個」では生み出せない新たな価値の共創に取り組んでまいります。



エントランス



オープンコミュニケーションスペース

(注2)「mocc」はMeijiyasuda Open-innovation Co-create Centerの略称です

外部との連携

スマートシティ会津若松への参画

会津若松市は、デジタル田園都市国家構想のもと産官学民一体で「スマートシティ会津若松」の実現に取り組んでおり、デジタル・ICTを活用した先進的なサービスが構築されています。

当社は、新たなサービスの検討や、イノベーション創出に向けた他企業等との協業ノウハウ蓄積を目的として、

2022年10月から、デジタル地域通貨「会津コイン」の購買データを活用した健康増進サービスの実証実験に取り組んでおります。

デジタル・ICTを活用した生活の利便性向上のために、サービスの社会実装も視野に、今後も他企業等とともに検討を進めてまいります。